

過去の検討経緯等

○第3回熱中症対策推進検討会で確認した方向性を基に、6月以降開催のワーキング・グループにおいて各論や詳細などを議論し、下記の素案を作成し、第5回熱中症対策推進検討会において、素案の確認を行う方向となった。

- ✓ 熱中症特別警戒情報等の運用に関する指針（国、地方公共団体向け）
- ✓ 指定暑熱避難施設の指定・設置に関する手引き（地方公共団体向け）
- ✓ 指定暑熱避難施設の運営に関する事例（施設管理者、地方公共団体向け）

○第4回熱中症対策推進検討会において、ワーキング・グループの中間とりまとめ結果を報告し、方向性について了承をいただいた。

○第4回熱中症対策推進検討会以降のワーキング・グループにおいて、議論を継続し、

- ✓ 熱中症特別警戒情報等の運用に関する指針（国、地方公共団体向け）
- ✓ 指定暑熱避難施設の指定・設置に関する手引き（地方公共団体向け）
- ✓ 指定暑熱避難施設の運営に関する事例（施設管理者、地方公共団体向け）

について、ワーキング・グループとして素案をとりまとめた。

○なお、ワーキング・グループとして、熱中症特別警戒情報等の色、熱中症特別警戒情報等の文については、指針等とは別に個別に第5回熱中症対策推進検討会に審議することとなった。

(参考) 熱中症特別警戒情報に関するスケジュール

回	時期	議題等
第1回	6月	<ul style="list-style-type: none"> ○熱中症特別警戒情報の発表基準（原則部分） ・熱中症特別警戒情報の発表基準について ・熱中症特別警戒情報の主な伝達経路について
第2回	7月	<ul style="list-style-type: none"> ○国民への伝え方（伝達経路） ○発表のタイミング ○熱中症特別警戒情報等の運用に関する指針（案）中間とりまとめ
—	9月	第4回熱中症対策推進検討会
第3回	10月	<ul style="list-style-type: none"> ○名称・色 ○アラートの運用期間 ○発表基準（例外部分） ○国民への伝え方（平時の準備等）
第4回	11月	<ul style="list-style-type: none"> ○色 ○発表基準（例外部分） ○国民への伝え方（平時の準備等） ○熱中症特別警戒情報等の運用に関する指針（案）とりまとめ
—	1月	第5回熱中症対策推進検討会
令和6年度以降の主な課題 （ワーキング・グループ 又は検討会）		<ul style="list-style-type: none"> ○自然的社会的状況に関する発表基準を設ける予定であり、関係省庁と協力の上、引き続き議論を継続して取りまとめを目指す。 ○また、運用に当たっての課題としては、発表単位の細分化や地形・暑さ指数情報提供地点数の影響、地域や時期による暑熱順化の程度の差、予報精度の精緻化などが挙げられるため、今後のデータ蓄積の結果、専門家の研究状況等をみながら、引き続き検討の継続を行う。

(参考) 指定暑熱避難施設に関するスケジュール

回	時期	議題等
第1回	6月	○省令で定める最低限の基準について
第2回	7月	○事例や詳細の取組について① ○指定暑熱避難施設の指定・設置に関する手引き（案）中間とりまとめ ○指定暑熱避難施設の運営に関する事例（案）中間とりまとめ
—	9月	第4回熱中症対策推進検討会
第3回	10月	○事例や詳細の取組について② ○クーリングシェルターマーク
第4回	11月	○クーリングシェルターマーク ○指定暑熱避難施設の指定・設置に関する手引き（案）とりまとめ ○指定暑熱避難施設の運営に関する事例（案）とりまとめ
—	1月	第5回熱中症対策推進検討会
令和6年度以降の 主な課題 (ワーキング・グループ 又は検討会)		令和6年度法施行後の状況を踏まえて検討（P）